

2016年8月



原水協通信

日本原水爆禁止日本協議会

発行人 赤松宏一

毎月1回6日発行

頒価 220円

電話 (03)5842-6031

FAX (03)5842-6033



原水爆禁止大阪府協議会 大阪府中央区谷町7-3-4 新谷町第3ビル210号 tel(06)6765-2552 fax(06)6765-2837

16年世界大会に322名参加

各団体最後まで参加努力

七月二十六日、二十七日の二日間は2016年原水爆禁止世界大会の参加登録日。谷町七丁目にある大阪原水協は一日中、各団体、地域からの申し込みで活気づきました。世界大会参加者数は、広島大会に三百十六人、長崎大会に六人となりました。申し込み締め切り日の二十七日が過ぎても、一人でも多くの参加者を増やそうと、懸命の奮闘が行われました。

西淀川原水協は 貸切バスでGO！ 高校生一人を含む青年が多含まれています。高校生「たこやきからピース」では、ヒバクシヤ国際署名で「折鶴宣伝」をしてから世界大会に参加

西淀川原水協は、地域から貸切バスで広島島に向かいます。総勢四十二名で 寝屋川から被爆者四名参加します



☆2015年長崎大会のファイナル。We shall overcomeの会場が一つになった大合唱です。

田辺模擬爆弾追悼のつどい 平和願い手を合わせ



7月26日、第15回田辺模擬爆弾追悼のつどいが大阪市東住吉区田辺で開かれました。田辺小学校の児童代表はじめ、地域の小中学校の代表が参加し、犠牲となった7人に手を合わせました。模擬爆弾は、長崎で使用されたプルトニウム型爆弾「ファットマン」を模して製造され、アメリカは全国50カ所に投下。爆風を避けて速やかに上空に離脱する訓練に使われたといいますが、参加した小中学生は、平和の願いを込め手を合わせていました。

世界大会登録で一番だったのが寝屋川の被爆者

大阪の高校生平和サークル「たこやきからピース」は二十四日、「被爆体験を聞く会」を開催。寝屋川原爆被害者の会、山川美英さん、松山

被爆体験を聞く会を高校生が開く 最も多い参加は、大阪民医連関係の参加者です。百名以上となり、全体参加者の三分の一を占めます。耳原、西淀、かわち野、ヘルスコープ、けいはんなどでは結団式が活発に開催されました。

の皆さんでした。昨年のNPT(核不拡散再検討会議)ニューヨーク行動にも四名が参加。核兵器のない世界をつくるため一貫して努力される被爆者のみなさんに、尊敬と驚嘆の声が寄せられています。 大阪民医連は 百名以上が参加

海外代表と語ろう！ピースイン大阪



8月1日、北区の大阪グリーン会館で2016年世界大会を成功させる「海外代表と語ろう！ピースイン大阪」が海外代表3名を迎えて65名の参加で開催されました。アメリカからジョセフ・ガーソンさん、ヒリー・カニングカムさん、オランダからセマル・オーストワードさんです。参加者から「ヒバクシャ署名をオランダでもやってほしい」「中学生です。広島で勉強してきます」などの意見が寄せられ、活発な交流が行われました。



☆ジョセフ・ガーソンさん(アメリカ奉仕委員会)：民主党、共和党の大統領候補は、危険な核兵器賛美者で、トランプにいたっては、すぐにでも核兵器を使用とする軍事最優先主義者です。アメリカを「世界帝国」として世界に君臨させようとする時代錯誤のアメリカ政治史最悪の候補者です。アメリカは、今でも南シナ海やウクライナで核兵器使用を視野に入れて準備。NPT6条などを使って運動をすすめなければなりません。



☆ヒリー・カニングカムさん(ピースアクション)：初めての来日と世界大会参加でワクワクしています。タフス大学の学生で20歳です。チョムスキー(平和科学者)の講演を聞きに行き大変感動しました。それ以来ピースアクションで活動しています。大学にピースアクションを広げ、2月には10人が集まり、今は40人になりました。ガーソンさんと呼んで学習会を開きました。ワシントンで上院議員に大統領広島訪問で申し入れ活動を行いました。



☆セマル・オーストワードさん(オランダ平和運動「パックス」)：「パックス」はギリシャ語で「平和」を意味します。ドイツのNATOの空軍基地を24時間使わせない「ブレード」などをやっています。オランダは核兵器を持っていませんが、核兵器をシェアする方針。核兵器を使う国です。核兵器製造にかかわる企業を明らかにし、告発しています。日本では、6企業がリストアップされています。初めての世界大会参加で興奮しています。

共に連帯して「ヒバクシャ国際署名」をすすめよう